

時間割コード	G1D12402	開講年度	2026				
授業題目	中国語初級（文法）Ⅱ				担当教員	LI DANDAN	
英文授業名	Chinese: Elementary Level (Grammar) Ⅱ						
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・1時限	対象学生	L I / 全
講義室	共通教育 2 5 講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	中国語を用いて、初級レベルの情報収集でき、そして発信できるようになります。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	前期の続きです。テキストに沿って授業を進めます。文法事項の説明、例文の日本語訳、音読、そして内容確認のための練習問題の取り組みやグループワーク等、という流れで進めていきます。						
(5)授業のキーワード	中国語、外国語初級、文法。						
(6)授業計画	第1,2回 第九課 “請”を使った依頼の表現など 第2,3回 第十課 禁止の表現などなど 第4,5回 第十一課 動詞の重ね型など 第5,6回 第十二課 比較の文など 第7,8回 第十三課 使役文など 第8,9回 第十四課 結果補語など 第10,11回 第十五課 持続の文など 第11,12回 第十六課 方向補語など 第13～15回 第十七課 処置文など 授業アンケート実施 第16回 期末試験						
(7)成績評価の方法	①小テスト ・一回目 20点（筆記・リスニング 10月末） 発音された質問文を書き取った上、中国語で答える。（書き取り6割と質問に6割解答できて合格水準） ・二回目 20点（筆記・作文 11月末） 日本語の文を中国語に翻訳する。（6割正解で合格水準） ②期末テスト（筆記 50点）（6割正解できて合格水準） ③主体性：10点 積極的に授業及びペアワーク・グループワークに参加したか、授業において不適切な行為（欠席、遅刻、居眠りなど）がないかによって評価します。						
(8)成績評価の基準	小テスト（40点満点）＋基礎点（10点満点）＋期末テスト（50点満点）のトータル得点が成績になります。 〔合格水準〕 トータル得点60点台 〔やや上にある〕 トータル得点70点台 〔かなり上にある〕 トータル得点80点台 〔卓越している〕 トータル得点90点以上						
(9)事前事後学習の内容	・ 予習では、教科書の例文を大体の程度で構わないので訳せるようにしておくこと。 ・ 復習では、学んだ事柄を整理しつつ、読み書きできるようにしておくこと。 ・ テキストの音声はダウンロードできるので、授業時間外でも音読を繰り返し練習しておくこと。 ※この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、15時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	・ 授業は文法中心ですが、発音、ヒヤリングも重視し評価の対象とします。 ・ 皆さんの理解度を見ながら、授業のスピードを調整します。当初の予定より前後する場合があります。						
(11)質問、相談への対応	授業の前後、もしくはメール(lidandan@shinshu-u.ac.jp)で対応します。						
(12)授業への出席	・ 全ての回に出席することを基本とします。 ・ 授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（不可）となります。 ・ 感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・ 「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場						

(12)授業への出席	合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	中村俊弘,『好きです中国語 文法編』,ISBN978-4-255-45266-1,朝日出版社,2020年出版,2300円
【参考書】	参考書は指定しない。